

尾花沢に活力を！②【保育園】～自分たちで創り上げた「おばね学」地域貢献～

前号から引き続き、本校3年生「おばね学」地域貢献活動を紹介します。

今号は、保育園チームの班長の振り返り及び協力いただいた保育園の先生方の感想です。

■おもだか保育園

大山聖太さん：園児たちがゲームでケンカしたり、ルールを覚えられず困ったりすることのないように対処を考えた。実際には、意外とケンカが起きなかったし、ルールの説明後に試しに1回やっただけで、次からは完ぺきだったので「すごい！」と思った。

折原舞彩さん：園児分の用具準備などで、手伝ってくれる仲間の偉大さを実感できた。園児と接するとき目線を合わせることで、親しみやすい環境をつくることにかなり苦戦した。最初の第一印象が大切ということに気付いたので、今後の生活に生かしていこうと思う。

■さくら保育園

笠原勇輝さん：どんな地域貢献をするか迷ったけれども、仲間と助け合い、何とか決めることができた。園児に勉強の大切さを伝えることが本当に大変だった。不安もあったが園児が楽しそうにしてくれて安心した。

■玉野保育園

松岡美月さん：最初は私たちも園児も緊張していたけれども「だるまさんがころんだ」から緊張がほぐれてきた。知っている遊びを一緒にすると、仲を深めることができると感じた。園児たちが小学校に入学したら、体育を頑張してほしい、と思った。

■協力いただいた保育園の先生方の感想

- ・絵本の読み聞かせでは子供の表情を見ながら、どんな角度だと子供たちが見やすいかを考えながら読んでくれ、驚きました。物語ゲームは少し難しいかな…と思いましたが、ていねいに説明してくれたので楽しくゲームに参加できました。年長児2名でしたが笑い声がたくさんあふれとても楽しかったようです。中学生のみなさんが楽しそうにしていたのが伝わったのだと思いました。子供と仲良くなるのが上手でした。
- ・中学生と触れ合う貴重な体験をありがとうございました。緊張がとれてからは、子供たちも楽しく遊べて大喜びでした。中学生にとっても、保育園児と関わることも少ないと思いますので、良い活動だったと思います。中学生が園児に必死に説明する姿、良かったです。
- ・「中学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんが来てくれる！」と、とても楽しみにしていた子供たちです。最初はお互いに緊張していたようでしたが、一緒に遊ぶ中で打ち解け合えたように思います。子供たちも中学生もとても楽しそうでした。恥ずかしがることなく積極的に子供たちに声をかけるなどして関わっていただきありがとうございました。

次号でも「おばね学」地域貢献活動を紹介します。

【文責：校長 工藤雅史】

